

週間漁海況情報 2021年第43号

令和3年11月2日発行

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

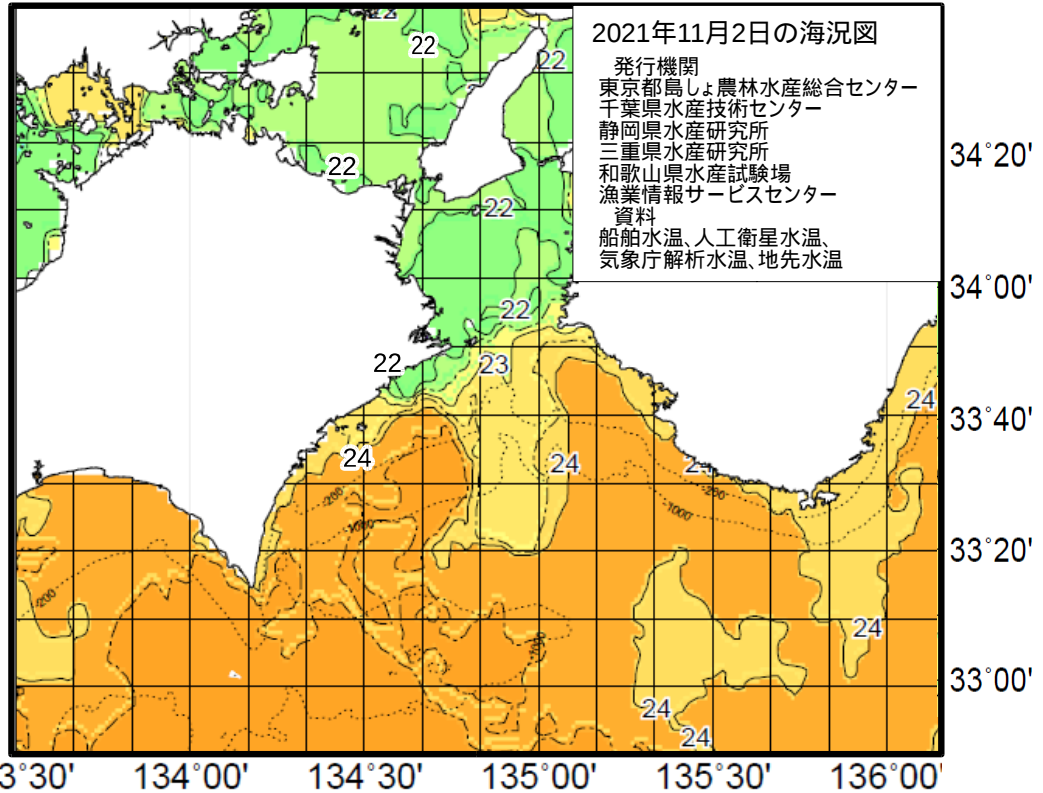
海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖52マイル、潮岬沖100マイルを流れ、室戸岬沖は「離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」となっている。

黒潮から紀伊水道外域へ24台の暖水波及がみられ、海部沿岸上灘に21,22台の内海水が南下している。

黒潮の表面水温は25台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘、紀伊水道が21,22台、海部沿岸が21~24台となっている。



黒潮の離接岸の表現

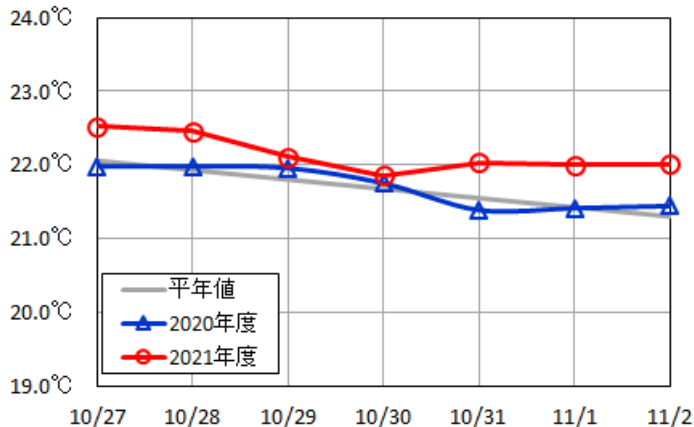
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

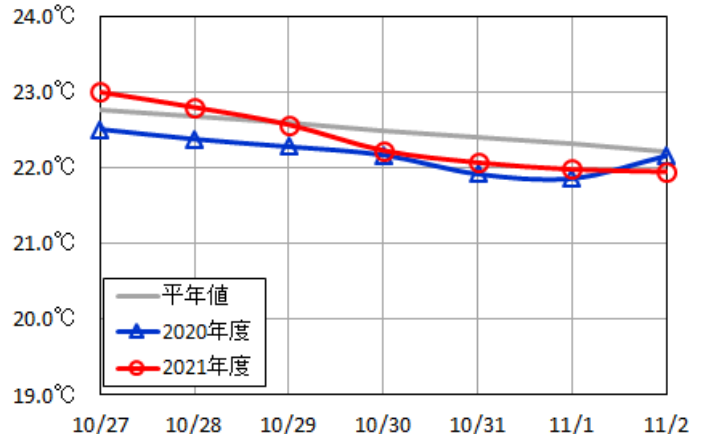
2. 地先水温(10月27日~11月2日)

鳴門地区の水温は22.5~21.9で「平年並み」から「やや高め」、日和佐地区は23.0~22.0で「平年並み」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は0.1~0.5でほとんどない。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み: 平年値±0.5 未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5 以上1.5 未満
高め/低め: 平年値±1.5 以上2.5 未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5 以上

平年値 1984年~2018年の平滑平均値

3. 週間予報(11月3日~11月9日)

黒潮は、室戸岬沖で「離岸」から「やや離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」から「平年並み」、日和佐地区は「平年並み」に推移する見込み。

漁況 (10月25日～10月31日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

船びき網では、シラスが減って62.5ト水揚げされた。

建網では、カワハギが大きく増えて大主体に0.5ト、タカノハダイが大きく増えて0.4ト、イラが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、カンパチが増えて2.5ト、ブリが大きく減って中主体に0.5ト、クロサバフグが0.2ト水揚げされた。

底びき網では、いとより類が大きく増えて中主体に0.6ト、えそ類が大きく増えて0.6ト、クマエビが大きく増えて0.5ト、ハモが大きく増えて中主体に0.5ト、クロサバフグが大きく減って0.5ト、かます類が増えて0.4ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

釣りでは、カツオが大きく増えて特大主体に9.2ト、キハダが大きく増えて0.4ト水揚げされた。

延縄では、キハダが大きく増えて0.5ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが大きく減って小主体に0.4ト、メアジが減って0.3ト、マルソウダが減って0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	船びき網	50	シラス	62,500	1,250		
	建網	92	カワハギ	545	6	大主体	
		82	タカノハダイ	383	5		
		59	イラ	291	5		
		20	カンパチ	2,466	123		
	小型定置網	16	ブリ	472	29	中主体	
		14	クロサバフグ	227	16		→
		19	いとより類	629	33	中主体	
	底びき網	11	えそ類	571	52		
		20	クマエビ	550	27		
		21	ハモ	510	24	中主体	
		14	クロサバフグ	463	33		
		16	かます類	404	25		
	海部沿岸	釣り	4	カツオ	9,195	2,299	特大主体
4			キハダ	414	103		
延縄		2	キハダ	522	261		
小型定置網		9	マアジ	441	49	小主体	
		9	メアジ	349	39		
		15	マルソウダ	299	20		

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: